

重要伝統建造物保存地区における親水空間の活用に関する調査

Study on the Utilization of Water Spaces in Important Traditional Building Conservation Areas

佐藤信治¹, ○山本淳樹²
Sato Shinji¹, *Yamamoto Junki²

The system of traditional buildings preservation areas was established in 1975 with the amendment of the Cultural Protection Law. By investigating the relationship between these heavy-duty buildings and the waterfront area, we show the importance of the waterfront area in the tourism area. I also show the precedence of the importance of the waterfront space in the development of Masuda town.

1. 目的と背景

平成25年(2013年)に秋田県横手市の「横手市増田」(以降,増田町)が重要伝統建造物群保存地区(以降,重伝建)に指定された。特徴的な建築様式や短冊状の町割り,水路などが歴史的風致を残しているとされている。しかし,農業用水路や融雪溝などの重伝建内に水路はあるもののそれらの水辺や水のある場所(以降,親水空間)を観光資源として生かしきれていないのが増田町の現状である。

昭和50年(1975年)の文化保護法の改正により伝統的建造物群保存地区の制度が発足した。令和2年(2020年)4月現在,重伝建は100市町村120件が登録されている。これらの重伝建と親水空間の関係性を調査することで観光地の親水空間の重要性を示す。また増田町の発展における親水空間の先行事例を示す

2. 調査項目と調査方法

2.1 調査について

重伝建の親水空間に関して以下を調査・集計を行う。重伝建地区または隣接敷地において親水空間の有無があるかについて調査した。海または湖沼,河川,水路などでも,また親水空間の活用の方法についても調査した。

2.2 調査方法

I:親水空間の有無に関して主に Google 社が提供している地図検索サービス「Google Maps」(以降,グーグルマップ)を活用して行う。グーグルマップサービス内の地図,航空写真とストリートビュー,スポットに登録されたユーザー投稿の写真で先述した項目の判断を行う。一部,国土交通省国土地理院が提供している基盤地図情報,実地調査も判断に含む。重伝建と最寄りの鉄道駅の距離に関して,原則有料道路を通らない動線距離とする。離島のため鉄道駅がない場合は離島と記入する。

II:親水空間の活用の有無を判断する。グーグルマップの重伝建内のスポットに登録された写真に親水空間が含まれているかを判断基準とする。なお,水路は存在が認識されても水が写っていないものは活用されていないと判断する。

III:集めたデータの集計を行う。その他の項目に関しては文化庁 HP 内の重要伝統的建造物群保存地区一覧を活用し集計を行う

3. 調査結果および考察

Table 1:重要伝統建造物群保存地区と親水区間との関係

Table 2:親水空間の活用数と活用率

Table 1 および 2 から,重伝建と親水空間には密接な結びつきが存在することがわかる。そしてそれらが観光資源の一端をになっていることが確認することができた。その中でも水路は活用率 77.1%と特に大きな大きな役割を担っている。また,図 1 から多くの重伝建は町の形成が自然の水辺に強く依存していないことがわかる。しかし,多くの町で水路の存在がありそれが町の形成に強く関わっていることが確認できる。

4. おわりに

本調査での結果はあくまで歴史的風致を残す観光地と親水空間の関係である。親水空間がその町を発展させる観光資源として有効であるかは判断できない。しかし,現状存在する親水空間はその場所を訪れた観光客にとっては魅力的な空間であることは確かである。

5. 参考文献

[1]文化庁 HP, 伝統的建造物群保存地区

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/>

[2]Google Maps

<https://www.google.co.jp/maps/@35.7163452,140.0495734,14z?hl=ja>

[3]国土地理院国土地理院 HP,基盤地図情報サイト

<https://www.gsi.go.jp/kiban/>

[4]増田-横手市増田町 伝統的建築物保存対策調査報告書-発行:横手市 編集:横手市産業経済観光物産課 伝建推進室/学校法人 工学院大学建築学部建築デザイン学科後藤研究室

1:日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, CST, Nihon University.

2:日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, CST, Nihon University.

